



第441号

2024年 1月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

教区設立100年 後の課題

AGIFTを告げに出ていこう！ 次世代に信仰をいかにつなぐか？ 「隔ての壁」を壊し「新しい人」になろう

1月1日 世界平和の日 教皇メッセージは カトリック中央協議会 ウェブサイトから。

教区ホームページ 福音のひびき

1月の説教者 1日 神の母聖マリア 北向 修一 (春日井教会) 7日 主の公現 モルク・フランシクス・アジジ (岡崎教会) 14日 年間第2主日 クマル・アファリ・アルン (教賀教会) 21日 年間第3主日 鄭 有喆 (押切・小牧・守山教会) 28日 年間第4主日 ソンボタン・カロール・ヨハネス (岐阜教会)

2024年 新年のあいさつ

# 「隔ての壁」を壊し、

## 世界を一つにする「新しい人」に



名古屋教区司教

松浦悟郎

みなさん、

あけましておめでとございます。

しかし、おめでとと言いながら、今年も混乱する世界の中で新しい年を迎えることになりました。

新年を迎えるとき、多くの人が神社やお寺に行つて手を合わせ、今年が幸せで良い一年であるように祈ります。私たちはその願いを、自分のためだけでなく世界のすべての人がそうであるように祈ります。教会はそのために1月1日を「世界平和の日」としたのです。この新しい年のはじめ、私たちも教皇の平和メッセージを指針とし、心を合わせて世界の平和を祈りたいと思います。

さて、この3年間はコロナ禍によって活動がかなり制限されましたが、振り返ってみると、名古屋教区では教区設立100周年という節目の年を迎え、講演会や巡礼をはじめ、さまざまな企画に取り組むことができました。シ

ノドスの課題を皆で分かち合うこともしました。そのように考えると、この3年間、教会は止まっていたのではなく、苦勞しながらも歩みを止めなかつたとも言えます。

司教団では今年の活動目標の一つに「教皇訪日5周年」を記念した取り組みをあげました。教皇フランシスコが訪日したのは、コロナウィルスによるパンデミックが起こる前年の秋(2019年)でした。前年だったので予定通り訪日を実現して幸いだつたとも言えるのですが、一方で、訪日の後、教皇のさまざまなメッセージや訪日の歴史的意味について深める機会を失つたということでもありません。教皇訪日に際しては教会の外からも、教皇のメッセージや教会に対して関心が示されましたが、以後3年間のコロナ禍でその機会を活かすことはできませんでした。昨年5月からコロナ感染が「5類感染症」に指定されたことをきっかけに、司教団は再度、教皇

訪日の意味を深めていこうと、活動目標の一つにしたということです。

その教皇フランシスコの「訪日講話集」の中に、「紛争が『橋』を壊すのではない。『橋』が壊れたところに戦争が始まる」「すべてのいのちを守るため——教皇フランシスコ訪日講話集」カトリック中央協議会、124ページ」という言葉があります。ウクライナでも、イスラエル、ガザでも、多くの人の目には突然の攻撃、そして戦争と映つたでしょうが、実はそこに至るまでに長い年月をかけて『橋』が壊れていったのです。もし、問題

が起こり、関係が悪くなつていったときに、そのたびごとに問題に向き合つて解決の糸口をつくり、関係を壊さないように努力してい

たら、今回のような戦争には至らなかつたでしょう。

このことは逆に、私たちにできることを示唆していると思います。それは日ごろから、身近なところから、私たちにできる「橋」をつないでいくことです。日本が政治的に対立する国を脅威と位置づけたとしても、わたしたちはそのことに左右されずに、身近にいるその国の人たちとの関係を作つていくことです。

キリストは、あらゆるものが分断されたこの現実の中に人となつて来られ、真の意味で一つになるようにいのちをかけて呼びかけられました。キリストは今も私たちのただ中にいて「橋」をかけておられる、すなわち「共に生きる関係」の実現のために働いておられ

ます。

教会は、同じキリストに結ばれているというこの一点で、老若男女、国籍や考え方の違いを超えて一つに集える場です。それは、世界が一つになり得るという希望の「しるし」なのです。私たちが教会に集い、多くの恵みを受けるのは、その世界の一致と平和のために「道具」となつて派遣されていくためなのです。

大江健三郎さんが作詞した合唱曲に『新しい人』という作品があります。これはエフエソ書2章14-15節の、キリストが敵意という隔ての壁を壊して「新しい人」をつくり、平和を実現するというメッセージを背景にしています。以下、その詩の最後の部分を引用します。

「いま、私は、古い 古い 手紙を、教えられた。争う者らを 和解させる、『新しい人』が来た、という手紙。私は、胸のなかでたずねる、もう一度、『新しい人』は来るだろうか？ 世界じゅうの子供たちが、それぞれの 言葉で、答える。——きつと来てくれる、心から信じるなら。『新しい人』に、私は祈っている、来てください、あなたと働きたい私らの、いま、ここへ！」

紛争や飢餓の中で大人を信じられなくなり、うつろな目で私たちをじつと見る子どもたちにとって、もう一度、この詩のように信じられる世界を実現するために、私たちがキリストとともに「新しい人」になりたいと心から思います。

### 名古屋教区殉教者祭

#### 福者ユスト高山右近殉教者 記念ミサ

日時 2月3日(土) 13時  
会場 カトリック金沢教会 金沢市広坂1-1-54  
主司式 ミカエル松浦悟郎名古屋司教  
問合せ カトリック金沢教会 電076-264-2536

### 新成人のつどい

日時 1月14日(日) 15時30分~17時(予定)  
会場 教区センター  
新成人と青年たちは、ミサに引き続き、教区センターで「新成人のつどい」に参加できます。事前申込みが必要です(案内は新成人に直接送られます)。オンライン (Zoom) も可。

### 新成人と共に祝う

#### 教区新年のミサ

老若男女、皆ともに、新年と新成人を祝いましょう。  
ミサ中、「新成人の祝福式」が行われます。  
日時 1月14日(日) 14時~15時  
主司式 松浦悟郎名古屋司教  
会場 カトリック布池教会大聖堂

# 愛で満たし、平和実現 キリスト者の生き方から

## 信徒協・秋の講演会



講演中の鈴木隆さん

「輝かそう！キリストの光」をテーマに2023年度信徒使徒職協議会・秋の講演会が11月11日、布池教会で開かれ、約70人が参加した。講師はイエズス会霊性センターの鈴木隆さん。鈴木さんは東京教区荻窪教会所属で、大学院で社会学を修め、オリエンズ宗教研究所「福音宣教」誌の編集長を長年務めた。

講演の流れは①日本のカトリック教会の立ち位置、②キリスト者の生活の3本柱、③教会とは？④キリスト者の生活とその共同体を通しての生き方、⑤識別と選定。

2023〜4年開催の第16回シノドスは、新3千年紀、今から千年後を見据え、そこへ旅する出発点となる。聖霊に聴くこと、神への傾聴と神との対話が重要だ。

1962年に始まった第二バチカン公会議は大きな変革だった。外見には、それまでとは異なる新しい宗教のように見えるほどだった。教義の面では、たとえば司祭のみ与えられていると考えられていた牧職、預言

職、祭司職の権能がすべてのキリスト者に与えられていると理解されるようになった。

日本の司教団は第二バチカン公会議を日本の教会に根付かせ、教会が宣教共同体になるようにと、直接宣教と社会福音化の実現を目的とした「基本方針と優先課題」

を84年に発表した。87年には第1回福音宣教推進全国会議(NICEE)が開かれた。

第二バチカン公会議では信徒使徒職に関して「信徒使徒職に関する教令」が発表された。また、86年のシノドス後には、

「信託と使命」が刊行された。これは正義と平和。ちいさな不正義を見逃さず、平和を実現するためには愛で満たさなければならぬ。愛とは、相手をかけがえのない人間として認めること。

1日目は、昨年8月に開かれたWYDリスボン大会に参加した青年による報告会が行われた。WYD世界大会はおおよそ3年に一度行われ、リスボン大会には名古屋教区から、司祭を含む7人が参加した。今回はそのうち3名が参加した感想や印象的だった出来事を紹介した。

# リスボン大会の再現と分かち合い

## WYD in名古屋



さまざまな国籍の青年が集まり交流する、名古屋教区青年委員会主催「ワールドユースデー(WYD) in名古屋」が11月11、12の両日、城北橋教会で開かれた。二日間、40人ほどの青年が参加し、日本語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、英語などの言語が飛び交った。

2日目は、松浦悟郎司教の講話と分かち合いがあった。リスボン大会での教皇の説教で取り上げられた「輝く」「聞く」「恐れぬ」というポイントについて、松浦司教が解き明かした。司教の

私たちの祈りは、神から人間への働きかけを意図することが弱い。祈りは双方方向になるように気を付けたい。

最後に識別と選定について。自分のミッションを見つめるには黙想、つまり神との対話が必要。識別については、悪魔(墮天使)がささやいて誘惑したかの見極めが重要となる。そのためには毎日寝る前に意識の究明を行うことが重要である。

さらに、大会で行なったのと同じ「インテグラルエコロジー」「社会的な友情」「いつくしみ」というテーマでの分かち合いを言語別グループで行った。十字架の道行もリスボン大会に準じて実施した。

2日目は、松浦悟郎司教の講話と分かち合いがあった。リスボン大会での教皇の説教で取り上げられた「輝く」「聞く」「恐れぬ」というポイントについて、松浦司教が解き明かした。司教の

# すべての人のバリアフリー

## 障害者の集い・多治見

名古屋教区障害者のつどいが昨年9月24日、多治見教会で開かれ、愛知障害フォーラム(ADF)辻直哉事務局長が講師として「インクルーシブな教会を目指して―名古屋城建て替えバリアフリー問題から考える―」をテーマに話した。

以下、カトリック障害者連盟担当司祭・志村武神父の力障連「公報」第79号「巻頭言」を参照し、一部引用によって報告します。

名古屋城の老朽化・耐震問題から出てきた木造復元による建て替え計画は、当初、バリアフリーエレベーター設置を伴うものだったが、昨年6

と、また、たった一人の車いす使用者が車いすの必要性について意見を述べたところ、別の参加者から差別的な暴言を受けたが、市の担当者はそれを傍観していたことについて、辻さんは問題として取り上げた。

辻さんは名古屋城建て替えの歴史から話を始めた。1945年、空襲によって焼失した名古屋城が59年に再建された際には、最新技術によるエレベーターが設置された。名古屋城は戦争の要塞から(1612年創建時)、市民に開かれた平和の象徴、だれもが歴史を学べ

る場となった。2009年に名古屋市長に選出された河村氏は名古屋城天守閣の木造復元を公約に掲げていた。15年12月には戦後再建された名古屋城の精神を継承し、バリアフリー、エレベーター設置を項目に入れて施工業者を公募した。それが突如昨年6月の討論会では、これまでの流れが覆されるような説明がなされた。

辻さんは社会のバリアフリー化のきつかけとなった77年の川崎バス占拠事件についても話した。車いす利用者の乗車拒否がまかり通っていた

その時代に、障害者たちが一丸となって抗議した事件だった。志村神父は「今、私たちが享受しているバリアフリーは、障害者の方々の戦いによってもたらされたものだということを理解しました」と述べる。「バリアフリーの恩恵には、すべての人が浴している。公共機関のエレベーター、広いトイレ、歩きやすい通路など、それは、他者への配慮、優しさからなっています。多くの人は死ぬ前に、身体的、精神的に障害者となり、死ぬ前でも、あまりにも疲れた

## 司祭評

# 司祭の協力体制を

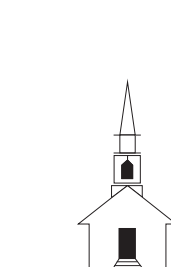
### 信仰つなく課題より先に

教区司祭評議会(司祭評)が10月26日に開かれた。司教・司祭18人が出席(欠席3名)し、司祭独自の司牧や制度にまつわる問題などが討議された。

名古屋教区では現在設立100周年を受けて「次世代へ信仰をどうつなぐか」以前に、「司教を中心とした司祭の協力体制をいかに整えるか」す

ぐか/どう育てていくか?」のテーマに取り組んでいる。閉幕ミサの時には小教区代表がこのテーマで分かち合いをした。宣教司牧評議会(宣司評)でも取り上げた。年間に3回(6月、10月、2月)開かれる司祭評でも、前回6月に参加者で分かち合い、さらにこの問題をブロックでも話し合うことになった。

とくに、①子どもたち教会がどのようにアプローチするか、②見直すべき現状(行事のあり方や教会での役割分担など)には何かがあるか、どうすべきか、③信徒の使徒職をどうサポートするかなどが、課題として挙げられていた。



司祭評としては、「次世代へ信仰をいかにつなぐか」以前に、「司教を中心とした司祭の協力体制をいかに整えるか」す

すべての司祭に教区の課題・方針をいかに伝え、共有するか」という課題にまず取り組むべきという提案がなされた。

3グループに分かれて話し合った結果、全体で次の合意に至った。

1. 司祭評議会後、各ブロックで司祭たちは、すみやかに司祭の集いの日程を決めて事務局長に報告する。

2. 司祭の集いでは、来年度のブロック司祭の集い(3回)の日程を決める。

3. 司祭評と同じテーマ「どうすれば司教を中心とした司祭の協力体制を整えることができるか/小教区で働くすべての司祭に必要な情報が伝わるためにはどうすればよいか?」について話し合う。

4. 「ブロック司祭の集い」を教区の重要な機関として、各司祭は優先的に参加することを確認する。

5. 教区司祭研修会をどうするか、行うかどうかについても意見を聞く。

司祭の金銀祝については、その他の審議があり、司教からは、大阪高松大司教区設立のこと、24年4月にアドリミナ(司教団のローマ訪問と教皇への報告)があること、教皇大使の退任などが報告された。

# 連行される姿思い

## キリシタン史跡バス巡礼

尾張・美濃のキリシタン史跡を巡る名古屋教区・殉教者顕彰委員会主催のバスツアーが11月3日に行われ、20人が参加した。朝から曇一つない小春日和に恵まれて主税町教会を出発し、可児市塩地区のキリシタン顕彰碑へと向かった。

この地、塩村と帷子村は江戸時代初期に大勢のキリシタンが検挙・処刑された「濃尾崩れ」と呼ばれる事件の始まりとなった場所である。捕らえられた信者らは、河原へ連れて行かれ、昼夜厳しい取り調べを受けた後、打ち首や火あぶりなど



塩・殉教者顕彰碑前のミサ

で処刑された。頭影碑の前で、浅井太郎神父の司式、早川和彦助祭の助祭奉仕によるミサがささげられた。命をなげうってでも信仰を守ろうとした殉教者たちをしのびながら祈りを唱えた。

昼食後、近くの甘露寺を訪ね、境内の硯石を見学した。これは当時、キリシタンの取り調べが行われたときに、役人が自然石を砕いて硯の代

# 遠くから自立支え

## 里親・里子の縁組みも

国際協力NGO教育里親グループ主催の「エスナックフェスティバル」が10月21日、名古屋市・八事の聖霊会ミッジョンセンター開かれた。アジ

エチオピア、ケニア、バングラデシュの里子からのビデオレター、ビンゴ大会など、参加者は和気あいあいとした時間を過ごした。バザーでは、パングラデシュの民芸品「ノクシカタ刺繍」の巾着袋やジュート製鍋敷の

加者の自己紹介、インド、エチオピア、ケニア、バングラデシュの里子からのビデオレター、ビンゴ大会など、参加者は和気あいあいとした時間を過ごした。バザーでは、パングラデシュの民芸品「ノクシカタ刺繍」の巾着袋やジュート製鍋敷の

評判が良く、主婦層に人気だった。参加者の一人、聖心教会の井上暁子さんはエチオピアの男児とエスナック通じて里親子の縁組をした。今回のフェスティバルでは「郵便事情が悪くて戻って来た7歳の誕生日カードを残念に思っ

評判が良く、主婦層に人気だった。参加者の一人、聖心教会の井上暁子さんはエチオピアの男児とエスナック通じて里親子の縁組をした。今回のフェスティバルでは「郵便事情が悪くて戻って来た7歳の誕生日カードを残念に思っ

誘導の人に付き添われ、満面の笑顔で舞台上に現れ、手が鳴り響いた。椅子に座ると慎重に鍵盤の位置を確かめるかのように指を移動させながらしぼらぐの沈黙。そして次の瞬間、堰を切ったかのよう

# 自死者とその家族、そして 私たちの安息願う

## カリタス福祉委員会

「大切な家族・友人のための追悼ミサ」が11月

25日、カトリック東海教会で行われた。司式は東海教会のロナウド神父とカリタス福祉委員会委員

願二つと日本語が三つ、計六つの共同祈願が祈られた。カリタスジャパン作成の「ケアの文化をともに築く祈り」も唱えられた。

添うシスターに大事に肩を抱かれ、2年前に父親を亡くし大変な時期を過ごしたこと、今はカトリック学校に通い無事に2年生を修了したこと、お母さんもまた里親の私にとても感謝し、共に私のために祈っていることを伝えてくれました

だまだレパートリーを増やしていきたい、という辻井さんの意欲が感じられた。



民芸品バザー



自死者の魂の平安を願うミサ

「大切な家族・友人のための追悼ミサ」が11月25日、カトリック東海教会で行われた。司式は東海教会のロナウド神父とカリタス福祉委員会委員長の山野聖嗣神父(港教会)。

願二つと日本語が三つ、計六つの共同祈願が祈られた。カリタスジャパン作成の「ケアの文化をともに築く祈り」も唱えられた。説教でロナウド神父は、「人はいろいろな亡くなりかたをしますが、自然死を除いて亡くなるにはそれなりの深刻な事情があります。私たちは、亡くなったすべての方々のために祈りましょう」と語りかけた。

「自死者の家族など、今も苦しんでいる人たちが神が癒してくださることを願った」「亡くなった方は神のもとにいと信じて祈りたい」「私たちの愛の足りなさを神に打ち明け、皆でゆるしを願うミサになった」などの感想があった。

「みんな朝早くから寒いけど頑張りました」と言う新酒&サンテリア&ホットワイン担当のYさんは「グラス売りは線のところまで注がないといけないので、少し難しかったです。来年はもっとお客さんに来てもらえるよう、もっとおいしいワインを作ってお客さんに喜んでほしいです」。

# AJU

## 情熱の超絶技巧！ ウェルフェアコンサート

### 寒さにも笑顔で

第18回AJUワインフェスタin多治見修道院が11月18日、雨模様の中で開催された。雨と突風で寒さも感じる天候に、例年になく温かい飲み物、食べ物に行列ができた。

悪天候にも関わらず、およそ1,200人の来場者たちには笑顔があふれ、楽しんでいる様子。各ブースでは小牧ワイナリーの障害のある仲間たちが大活躍で、受付担当のOさんは「雨は感謝です。自分は雨男です」と言いながらチラシ配り



向こうに修道院をのぞむ ぶどう畑でくつろぐ人々

に精を出していた。「みんな朝早くから寒いけど頑張りました」と言う新酒&サンテリア&ホットワイン担当のYさんは「グラス売りは線のところまで注がないといけないので、少し難しかったです。来年はもっとお客さんに来てもらえるよう、もっとおいしいワインを作ってお客さんに喜んでほしいです」。

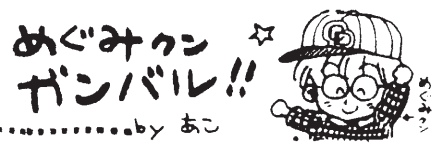
仲間たちが積極的に手伝っている姿は頼もしい姿だった。神様に感謝!! (AJU 小牧ワイナリー一同)



演奏する辻井伸行さん

誘導の人に付き添われ、満面の笑顔で舞台上に現れ、手が鳴り響いた。椅子に座ると慎重に鍵盤の位置を確かめるかのように指を移動させながらしぼらぐの沈黙。そして次の瞬間、堰を切ったかのよう

だまだレパートリーを増やしていきたい、という辻井さんの意欲が感じられた。



**めぐみカンガンバレ!!**  
.....by あこ

お正月のお雑煮あるある  
鶏肉だよな?  
え? プリ  
じゃなくて?  
うちは  
あこ出汁  
ゴボウは  
マスト!  
え、白味噌??  
あんこが入つ  
てるよね?

どれも正しく  
どれも幸せな  
《我が家》の味  
最近知って  
ビックリ!  
え!?

どんなお雑煮も  
それが正解

香川県のお餅は  
甘いあんこ入り  
とな!

お雑煮を通して  
自由で奥の深い  
多様性を考え  
させられる

どんな具材を  
使おうとも  
「平和な一年であれ」  
という思いだけで  
お雑煮は成立するの  
だろう

今年私たちが  
困る食卓が  
教会でも  
どこでも  
誰でも  
いつも  
神さまと共に  
ありますように

**1月の教会暦**

(祭) 祭日、(祝) 祝日、(記) 記念日

1日(祝) 神の母聖マリア (祭)  
2日(火) 世界平和の日  
3日(水) 聖パジリオ 聖グレゴリオ (ナジアンズ) 司教会博士 (記)  
4日(木) 主の公現 (祭)  
5日(金) 主の洗礼 (祝)  
6日(土) 年間第2主日  
7日(日) 聖アントニオ修道院長 (記)  
8日(月) 聖アントニオ修道院長 (記)  
9日(火) 年間第2主日  
10日(水) 年間第2主日  
11日(木) 年間第2主日  
12日(金) 年間第2主日  
13日(土) 年間第2主日  
14日(日) 年間第2主日  
15日(月) 年間第2主日  
16日(火) 年間第2主日  
17日(水) 年間第2主日  
18日(木) 年間第2主日  
19日(金) 年間第2主日  
20日(土) 年間第2主日  
21日(日) 年間第2主日  
22日(月) 年間第2主日  
23日(火) 年間第2主日  
24日(水) 年間第2主日  
25日(木) 年間第2主日  
26日(金) 年間第2主日  
27日(土) 年間第2主日  
28日(日) 年間第2主日  
29日(月) 年間第2主日  
30日(火) 年間第2主日  
31日(水) 年間第2主日

**2月の主な教会暦(主日・祭日など)**

29日(木) 月集\*

25日(日) 安城教会聖信式\*

24日(土) 濃尾B会議

22日(木) 司祭評議会\*

20日(火) カトリック看護協会例会

18日(日) 愛岐B会議

14日(水) 春日井教会聖信式\*

13日(火) カリタス福祉委員会

11日(日) 樹の会

10日(土) 南山教会聖信式\*

9日(金) 信徒協役員会

8日(木) 信徒協役員会

4日(日) 正義と平和委定例会  
殉教者委定例会  
典礼委コアミーティング

3日(土) 聖心教会聖信式\*

2日(金) 宣教司牧評議会\*

1日(木) 殉教者祭(金沢/高山右近)\*

**告知板**

1月の吹き出し  
木 4日 布池、11日 南山・樹の会、  
18日 聖霊・南山・樹の会、25日 城北  
橋  
金 5日 喜望の会、12日 布池、19日  
A J U・恵方町、26日 長浦

2月  
7日(日) 10日(水) シンポジウム(韓国)  
11日(木) 常任司教委員会  
23日(火) 南山学園評議員会

2月  
1日(木) 常任司教委員会  
13日(火) 16日(金) 司教総会

▼人事異動  
城南ブロック・港教会  
チャペリー・ボムセノ神父(聖アウ  
グスチノ修道会) 東京教区へ

**建設費の返済に協力を**

662件 35,341,634円  
目標額 40,000,000円 (11月末現在)

達成率 約88.3%

郵便振替 00810-5-50605  
加入者名 カトリック名古屋教区  
通信欄に「福信館建設」と必ず  
ご記入ください。

**正義と平和学習会**

年間テーマ  
「やられた方から歴史を見るパート2  
— 誰一人置き去りにしない —」

テーマ 「フクシマからの避難者」  
講師 岡本早苗 (だまっちゃおれん! 原発事故  
人権侵害訴訟・愛知岐阜原告団長)

日時 2024年1月12日(金) 10時30分~12時  
会場 福信館  
問合せ 名古屋教区正義と平和委員会  
〒461-0004  
名古屋市東区葵2-6-29 福信館気付  
Fax 052-935-7195

**演奏会 聖マリアに捧げる  
祈りと音楽のひととき**

日時 3月2日(土) 13時30分開場/14時開演  
会場 カトリック主税町記念聖堂 名古屋市東区主税町3-33  
地下鉄桜通線高岳駅1番出口徒歩9分、  
市バス清水口停徒歩3分。  
なるべく公共交通機関でご来場ください。

曲目 ベルゴレージ「スタバト・マーテル」  
バッハ「平均律クラヴィア曲集第1巻」より第24番前奏曲  
同「マタイ受難曲」より第63番コラール

出演 Octet Chikaramachi  
ソプラノ/上井雅子、メゾ・ソプラノ/番美貴子  
第1 ヴァイオリン/小川正弘  
第2 ヴァイオリン/山口真奈美  
ヴィオラ/高橋由美子、チェロ/池田明宏  
チェンバロ/徳田あつ子  
指揮/石原立教  
福音書朗読と短説 光山相泰助祭

入場料 無料。ただし会場での献金をお願いします。  
全自由席。  
満席の場合は入場をお断りすることがあります。

主催 音楽と祈りの会~音楽を通して祈る  
問合せ 石原 au332059@gmail.com

**第17回 ホスピス聖霊講演会**  
テーマ「日本人と死生観への問い」

講師 島蘭進氏 NPO 東京自由大学学長  
日時 2月10日(土) 13時30分~15時  
(その後、30分の質疑応答)  
\*入場 13時~  
会場 聖霊病院2階 聖霊ホール  
対象 一般  
定員 100名 定員になり次第締切  
申込み ・はがき、封書、または Eメールで、氏名・住所・  
電話番号をご記入・ご送付ください。  
・定員を超過した場合、折り返しご連絡いたします。

締切 2月2日(金)必着  
申込み先および問合せ先  
〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地  
聖霊病院 カトリック社会事業室 ホスピス聖霊講演会係  
☎052-832-1181 (内線3316)  
Eメール katosha@seirei-hospital.org  
※この講演会は、後日聖霊病院ホームページより  
配信を予定しています。

主催 聖霊病院 ホスピス聖霊推進委員会  
後援 ホスピス聖霊後援会「ぶどうの会」

QRコードからも申込みができます。

**使徒的勧告  
— 気候危機について —**

ラウダーテ・デウム

カトリック中央協議会 495円(税込)

教皇フランシスコによる「使徒的勧告 ラウダーテ・デウム」が12月8日に発売された。15年公布の回勅「ラウダーテ・シ」を補完する内容で、ドバイでのCO2 P28に全体の4分の1のページを割いて気候危機を訴えた。気候危機の原因が人間にあることを明言し、地球が確実に限界点へと近づきつつあるとの認識を強く促している。国際政治の弱点を具体的に指摘、多国間主義の再設計まで提言し、エネルギー転換の枠組み確立を求めている。また、第30項では放射性廃棄物について言及、核のゴミ、被曝被害を受ける人々の存在に光が当てられた。

**<カルメル修道会日比野修道院、講座、黙想企画>**

**【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】**  
—キリストの十字架の恵みをより味わうために—  
テーマ ルツ記 人による慈愛(ヘセド)と神の慈愛(ヘセド)  
日時 1月20日(土) 14時30分~16時30分  
担当 志村武神父(カルメル修道会)  
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。  
参加費 無料。どなたでもご自由にご参加ください。  
以降の予定: 2月17日(土)、3月16日(土)

**【静修の集い】**  
テーマ リジューの聖テレーズにおける信頼の道  
日時 3月9日(土) 10時~15時  
内容 講話①、ご聖体顕示、昼食、講話②、ミサ、茶話会  
講話担当 志村武神父(カルメル修道会)  
参加費 無料(自由献金をお願いします)。どなたでもご自由にご参加ください。  
持ち物 昼食(各自持参)、聖書(旧約+新約)

会場・問合せ カルメル会日比野修道院(日比野教会)(052-671-1003)